

1. 2008年度年会について

2008年度年会は近畿大学理工学部において、下記のとおり行われます。

場 所： 近畿大学理工学部

日 時： 2008年3月22日（土）より3月26日（水）まで

※3月22日は「日本数学会・日本物理学会合同講演会」が行われます。

3月23日から通常の年会スケジュールになります。

a) 講演申込について

この会で講演することを希望される会員は、会員名簿にとじこまれている講演申込書に記入してお申込下さい。その際会員番号を必ずご記入下さい。

セッション「無限可積分系」についても、講演の発表、募集は分科会と同じように公募形式を取り、アブストラクト集の作成、特別講演も分科会と同様に行われます。講演希望の方は、講演申込書の「希望分科」欄に「無限可積分系」とお書き下さい。

複数の講演を希望される場合は、題目ごとに一枚の講演申込書を用いて下さい。複数の分科会あるいはセッションにわたる場合は、その分科会名あるいはセッション名を講演申込書の備考欄にご記入下さい。また、書画カメラの使用を希望される方はその旨講演申込書の備考欄に朱書して下さい。

なお、大会運営上時間および講演件数を制限したり、講演する分科会を変更させて頂くこともあります。

予稿（アブストラクト）原稿も、下記の注意に従ってご提出下さい。

講演申込先：〒557-8502 大阪府東大阪市小若江3-4-1

近畿大学理工学部理学科

日本数学会年会委員長 泉 脩藏 宛

封筒の表面に“講演申込”と朱書のこと。

申込締切：12月4日（火）必着で申込先に到着するようお送り下さい。

（締切後の追加申し込みは受け付けられません。）

申込件数の制限：応用数学分科会では、申込件数を1人当たり2件以内とします。

申込用紙：各題目ごとに、名簿とじこみの用紙、またはそれと同じ形式のものを用いて下さい。

予稿原稿：分科会によって指定のない限り、2007年度版 会員名簿内の“学会アブストラクトの書式”に従って作成して下さい。数学通信第8巻3号の58ページに説明があります。予稿原稿の送付期限も、講演申し込みと同じく12月4日（必着）とさせていただきます。

キーワード・分類コード：函数論，応用数学，統計数学各分科会への講演申込に当っては、それぞれ次の分類コードから選んで講演申込書の備考欄にキーワード等を記入して下さい。

函数論分科会：1 [1変数函数論]，2 [多変数函数論]

応用数学分科会：1 [解析系応用数学]，2 [離散系応用数学]，3 [その他]

統計数学分科会：講演申込書の備考欄にキーワード等を記入して下さい。

1 [確率論，確率過程論]，2 [計画数学]，

3 [確率分布，標本分布，乱数]，4 [実験計画法]，

5 [多変量解析]，6 [時系列解析]，

7 [ノンパラメトリック解析]，8 [漸近理論]，9 [応用統計]，

10 [推測理論] (3-7に含まれないもの), 11 [その他]

上の分類コードは、講演申し込み数の動向などに応じて改訂を検討することになっておりますので、ご意見を連絡責任評議員(予稿原稿送付先)までお寄せ下さい。

b) 予稿集について

各分科会、セッションとも予稿原稿に従って講演予稿(アブストラクト)集を作ります。

- (1) 基礎論及び歴史・代数・幾何・函数論・函数方程式論・実函数論・函数解析・トポロジー分科会・「無限可積分系」セッション

上述の「a) 講演申込について」の“予稿原稿”に従って、講演申込書と同時に提出下さい。

- (2) 統計数学分科会

統計数学分科会では予稿集の原稿の縮切は講演申込の縮切と同時ではなく、2008年1月25日(金)といたします。原稿送付の際には講演申込書のコピーを添付して下さい。原稿は、会員名簿の最終ページに記載の書式を参照の上 A4用紙にて作成して下さい。送り先は

〒169-8555 東京都新宿区大久保3-4-1

早稲田大学基幹理工学部応用数理学科

谷口 正信 宛

E-mail: taniguchi (at) waseda.jp

です。提出された原稿を予稿集の大きさに縮小し印刷致します。

- (3) 応用数学分科会

応用数学分科会(別記のように申込件数は2件までに制限)では予稿集用の原稿縮切を講演申込縮切と同時ではなく、2008年1月31日(木)とします。予稿原稿は1講演あたりA4(縦置)横書き4ページ以内とします。マージンは上端20mm, 下端30mm, 左右端30mmとして下さい。講演予稿集は原稿をそのままB5に縮小して印刷しますからフォントサイズは9ポイント以上として下さい。原稿は郵送または電子メールにより受け付けます。

郵送による場合は

〒520-2194 大津市瀬田大江長横谷1-5

龍谷大学理工学部数理情報学科

森田 善久 宛

にお送り下さい。電子メールによる場合は

morita (at) rins.ryukoku.ac.jp 宛

にお送り下さい。ファイルはPDF形式に限定します。PDF形式に変換する際はすべてのフォントをインクルードして下さい。また、PDF形式に変換後のファイルをAcrobat Readerなどで印刷し、読めることを確認して下さい。

なお、応用数学分科会では液晶プロジェクターの利用は原則的に可能としておりますので、利用を希望する場合は講演申込書に「プロジェクター利用」と明記し

て下さい。もし、やむを得ない理由で利用が不可能になった時は応用数学分科会公式ウェブページ：

<http://isam.pm.tokushima-u.ac.jp/~imai/societywork/dam/>
や日本数学会応用数学分科会ニュース（ウェブページ）

<http://www.math.ryukoku.ac.jp/~morita/dam.html>
にその旨掲載しますので適宜確認して下さい。また応用数学分科会公式ページは日本数学会のウェブページ <http://www.soc.nii.ac.jp/msj6/> からリンクされています。

c) 会合の申込について

各分科会または研究団体で、会合のために部屋の準備を必要とされる場合は、①会合の名称、②責任者の氏名・連絡先、③使用の日時・人数、④弁当の有無等を明記した書面を下記に提出下さい。なお、期限後の申込については、会場確保が不可能となる場合もあります。

申込先：〒557-8502 大阪府東大阪市小若江3-4-1
近畿大学理工学部理学科
日本数学会年会委員長 泉 脩藏 宛
封筒の表の面に“会合申込”と朱書のこと。

申込締切：12月4日（火）必着。

d) 無限可積分系

このセッションについては、日本数学会理事会の責任において行うものですが、今回の実務的な責任者は高崎金久氏（京都大学大学院人間・環境学研究科）です。

e) 企画特別講演について

企画特別講演は、1996年度第3回評議員会において承認され、1997年度年会より始まった企画で、大学院生等若い会員にとって、年会・総合分科会への参加がより意義のあるものになることを目的としています。講演者は、分科会評議員および「無限可積分系」セッション責任者からの推薦をもとに、理事会が決定致します。講演は、学会期日中の第1日、第3日、第4日の3日間の13:00～14:00に複数を平行して開催します。この時間は一般講演・特別講演等の通常プログラムは設けません。また、アブストラクトは総合講演アブストラクトと合わせて作成します。

f) 書籍等展示の申し込みについて

賛助会員で書籍等の展示を希望される場合は、申込書2枚（日本数学会理事長宛、大会委員長宛）を申込締切12月4日（火）厳守で下記（展示とりまとめ当番社）へお送り下さい。（締切後の追加申し込みはご容赦下さい。）

送り先：〒113-0034 文京区湯島4-1-22
(株) マテマティカ

電話:03-3816-3724 FAX:03-3816-3717